

資料4-2(別紙①)

2019年度 知床半島ヒグマ管理計画 各目標に関する状況（速報）

知床半島ヒグマ管理計画目標である①～⑧のうち、数値目標が設定されていない⑧以外について2019年の状況を以下に記した。

①計画期間内における、斜里町、羅臼町及び標津町内でのメスヒグマの人為的な死亡総数の目安を75頭以下とする

- ・2019年10月末時点での3町におけるヒグマの人為的死亡個体の内訳は、メスが14頭、オスが31頭。
- ・管理計画運用開始年からの累計はメス50頭（2017年メス21頭、2018年メス15頭）、オス75頭（2017年27頭、2018年17頭）。

表1. 2019年のヒグマ人為的死亡個体の内訳（年齢別・場所別・性別）

年齢/場所・性別	メス			オス		
	斜里町	羅臼町	標津町	斜里町	羅臼町	標津町
0歳	3	0	0	2	0	0
1歳	1	0	0	5	3	0
2歳	1	0	0	2	2	0
3歳以上	5	3	1	9	5	3
小計	10	3	1	18	10	3
合計	14			31		

※10月末時点

②計画期間内における、ヒグマによる人身事故をゼロにする

2019年はヒグマによる人身事故が斜里町で1件。羅臼町、標津町においては人身被害なし。管理計画運用開始年からの累計は2件。

表2. 2019年 斜里町 ヒグマによる人身事故の詳細

No.	日付・場所	状況概要
1	4月16日 斜里町	峰浜地区において、ヒグマ対策技術者育成のために捕獲に従事している猟友会のハンター1名が、現場の下見中に単独垂成獣のヒグマに襲われた。ハンターは当該ヒグマをその場で捕獲、自力で救助を要請した。

③利用者の問題行動に起因する危険事例の発生件数を半減させる

2019年は斜里町で16件。羅臼町、標津町においては発生しなかった。管理計画運用開始年からの累計は33件。

表3. 2019年 斜里町 利用者の問題行動に起因する危険事例の詳細

No.	日付・場所	状況概要
1	5月4日 斜里町	岩尾別橋近くの道路から約3m離れた場所に1歳サイズのヒグマが出没。車両5台程が停車し、渋滞発生。また5～10人が降車して撮影。交通整理を実施し、撮影後は車に戻るよう呼びかけた。初動から30分が経過したため、撤収。
2	5月4日 斜里町	岩尾別橋近くの道路脇に1歳サイズのヒグマが出没し渋滞が発生。車両や降車した観光客等と距離が近かったため、追い払いを実施。
3	5月4日 斜里町	町道岩尾別温泉道路の法面に単独亜成獣サイズのヒグマが出没。ヒグマから距離5mの位置に椅子を置いて、観察している人がいたとの情報が寄せられた。また車両10台程が停車し、渋滞が発生していたとのこと。
4	5月5日 斜里町	岩尾別温泉道路上から約5m離れた場所に1歳サイズのヒグマが出没。車から降車し撮影している観光客2組がいたため、注意喚起を実施。ヒグマを道路から遠ざけるため、赤ソリを持って対策員が接近し、追い払いを実施。
5	5月5日 斜里町	岩尾別温泉道路上から約10m離れた場所に1歳サイズのヒグマが出没。10人が車から降車し、撮影。対策員が赤ソリとクマ鈴を持って追い払いを実施。
6	5月5日 斜里町	ウトロ駐在の所長から、岩尾別温泉道路上でヒグマへ1mまで接近しているカメラマンがいたとの情報があった。
7	5月12日 斜里町	岩尾別温泉道路の法面に1歳サイズのヒグマが出没。車両から降車したカメラマンが10mの至近距離で観察。対策員がクマ鈴とクラクションを鳴らして追い払いを実施。
8	5月12日 斜里町	岩尾別温泉道路の法面に1歳サイズのヒグマが出没。道路からの距離は3m。車両5台が停車し、3人が車から降車。車に戻るよう呼びかけ、対策員が乗車していた車のエンジン音で追い払いを実施。

No.	日付・場所	状況概要
9	5月12日 斜里町	岩尾別温泉道路の法面に1歳サイズのヒグマが出没。車両5台が停車し、カメラマンに追われていたとの情報があった。
10	8月19日 斜里町	幌別ポンホロ林道入口付近の道路法面に0歳2頭連れ親子グマが出没。利用者との距離は20～30m。10台程車両が停車し、降車する人多数確認。
11	8月21日 斜里町	幌別ポンホロ林道入口付近の道路法面に0歳2頭連れ親子グマが出没。5台程の車両が停車し、降車する人もいた。最接近距離は5m。
12	8月30日 斜里町	岩尾別温泉道路の法面に1歳サイズのヒグマが出没。車から降りてヒグマを追いかけるカメラマンがいたとの情報があった。
13	8月30日 斜里町	プユニ岬近くの道路法面に0歳2頭連れ親子グマが出没。両車線がうまり、通行できない状態となる。スピーカーで停車しないように呼び掛けるが、効果なし。親子グマの真横に停車した車両がブラフチャージされる。親子グマが林内へ移動したため、徐々に渋滞は解消された。
14	9月8日 斜里町	岩尾別川に単独亜成獣サイズのヒグマが出没。岩尾別橋には観光客およびカメラマン計20名以上がおり、ヒグマとの距離は約20m程であった。カメラマンのうち、1名が孵化場入口に張られたトラロープを越えて、ヒグマに接近していこうとしたため、戻るよう注意喚起を実施。
15	9月15日 斜里町	岩尾別橋付近に単独の亜成獣サイズが出没。約30台ほどの車両が停車し、渋滞発生。カメラマン数名が距離30mまでヒグマに接近する状況も発生した。ヒグマと距離をとるよう注意喚起を実施すると、その声に反応してヒグマは人の居ない下流側方向へ移動した。
16	9月20日 斜里町	岩尾別川下流に単独亜成獣サイズのヒグマが出没。カメラマン3名が川岸から川の中にいるヒグマを至近距離で撮影していたとの情報があった。

④地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例を半減させる

2019年は羅臼町で9件。斜里町、標津町においては地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例は発生しなかった。管理計画運用開始年からの累計は30件となった。

表4. 2019年 羅臼町 地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例の詳細

No.	日付・場所	状況概要
1	7月19日 羅臼町	春日町の水産加工場で物置の扉が壊され、中に保管していた加工残渣をヒグマに食べられた。
2	7月27日 羅臼町	峯浜町でヒグマに飼い犬を食べられた(2019年度2件目)。
3	8月3日 羅臼町	春日町でヒグマに飼い犬を食べられた(2019年度3件目)。
4	8月8日 羅臼町	麻布町の運送会社で水産加工残渣運搬用のトラックが2日連続でヒグマによって破壊された。
5	9月4日 羅臼町	八木浜町の住宅で1階部分カーポート内に置いていた生ごみがヒグマに食べられた。ヒグマは逃走し、捕獲には至らなかった。
6	9月5日 羅臼町	知昭町で軽トラックの荷台に乗るヒグマが目撃された。前日の夜間には、同トラックの荷台に積んでいた魚がヒグマに食べられていた。
7	9月10日 羅臼町	岬町で住宅前に置いてあった生ごみが入ったポリバケツを壊そうとしているヒグマが目撃された。ヒグマは住民によって追い払われた。
8	9月30日 羅臼町	共栄町で住宅裏の海側を歩いているヒグマが目撃された。目撃地点で不法投棄生ごみが確認された。
9	10月25日 羅臼町	岬町の海岸を移動するヒグマが目撃された。ヒグマは投棄された生ごみを食べていたためその場で捕獲した。

⑤市街地（ゾーン4）への出沒件数を半減させる

2019年は、3町合計で135件の市街地出沒を確認。うち羅臼町が約9割（123件）。各町の出沒状況の概要は以下のとおり。

■斜里町（5件）

- ・ウトロに設置されているU字型の市街地柵内で4件、斜里町役場のある本町に近い小学校で1件、計5件の出沒。いずれのケースも人為的な食べ物に餌付いていた状況は確認されなかった。

■羅臼町（123件）

- ・表3のような危険事例が発生。これら以外の出沒においては、海岸沿いの住宅裏山斜面でヒグマが目撃される状況が多かった。

■標津町（7件）

- ・7件すべて標津川を移動経路にしてヒグマが市街地侵入したケースであった。特に6月下旬から7月にかけて頻繁に発生した。

⑥斜里町における農業被害額及び被害面積を3割削減する

斜里町における今年度の農作物被害は未集計。電気柵の導入を行っている農地（ウトロ高原等）では被害が軽減している。ハンターによる農地のパトロール時間は平年並みだが、農地での駆除頭数は24頭であり、昨年度（7頭）より17頭も多かった。

<参考>

- ・羅臼町については農業被害なし。
- ・標津町については、昨年度に引き続きヒグマによるデントコーン被害が発生しているが、作付け自体が減少したため、被害も減少。また、牧草ロールやデントコーンサイレージが荒らされる被害も報告された。どちらも被害額の集計は行われていない。

⑦漁業活動（特に羅臼側の昆布番屋等）に関する危険事例の発生件数を半減させる

2019年は、斜里町、羅臼町、標津町においては漁業活動に関する危険事例は発生しなかった。管理計画運用開始年からの累計は9件となった。